

デジタル教科書指導案／地理的分野

1. 題材 p.164-165 日本の交通網・通信網
2. 目標
 - (1) 輸送手段や交通網の発達により、世界と日本の結び付きが深まり、人々の生活が変化していることを理解できる。
 - (2) 交通網や通信網の発達に伴う、利便性の向上と問題点について考察できる。
3. 章・節の評価規準例につながる指導のポイント

評価との関連	指導のポイント
知識・技能	・ 航空路線の拡大に伴って出入国者が増加する一方、国内では道路網の整備によって、自動車の割合が増えてきたことを理解している。
思考・判断・表現	・ 交通網や通信網の発達によって結び付きが強まることによる、利点や問題点を考察している。

4. 指導過程

	学習内容・学習活動	資料・発問	留意点(○)・指導のポイント(◆)
導入	1. 「日本の海上輸送貨物」と「日本の航空輸送貨物」の内訳のグラフを題材にし、本時の課題をつかむ。 2. 船舶と航空機以外の輸送手段を挙げ、それぞれの輸送手段のメリットを予想し、学習課題への見通しを持つ。	資料 1: 海上輸送貨物の内訳 (p.164) 資料 2: 航空輸送貨物の内訳 (p.164) 資料 3: 船舶と航空機以外の輸送手段の内訳 (p.164) 資料 4: 船舶と航空機以外の輸送手段の内訳 (p.164) 海上輸送貨物と航空輸送貨物の特色をそれぞれ挙げてみよう。 船舶と航空機以外の輸送手段を挙げ、その輸送手段のメリットを予想してみよう。	○ 「日本の海上輸送貨物」と「日本の航空輸送貨物」のグラフを題材にし、両者の違いの理由を考えさせながら、本時への導入を図る。 ◆ 海上輸送では原油や自動車、機械類などの重いもの、航空輸送では半導体や精密機械など、軽くて付加価値の高いものが運ばれていることに気付かせる。 ○ 船舶と航空機以外の輸送手段を挙げさせ、その輸送手段のメリットを予想させる。 ○ 「学習前の予想」へ記入させ、本時の学習展開の見通しを持たせる。
展開	3. 日本と世界の人の移動が活発になってきたことに伴い、航空路線が拡大していることを理解する。 (1) 日本人の海外旅行者数と訪日外国人旅行者数の推移	資料 5: 日本人の海外旅行者数と訪日外国人旅行者数の推移 (p.164) グラフから読み取れることをまとめてみよう。	○ 日本人の海外旅行者数と日本を訪れる外国人旅行者数の推移を読み取らせる。 ◆ 日本人の海外旅行者数は、2000年以降1800万人前後で安定している一方で、日本を訪れる外国人は年々増加し、2013年には1000万人を超えたことを理解させる。

展 開	(2) 訪日外国人の国・地域別割合 4. 国内の輸送手段の変化を理解し、その理由を考える。 5. 交通網の発達によって、社会や人々の生活が変化していることを理解する。 6. 通信網の発達によって、生活の利便性が高まってきたことを理解する。	p.164 5 p.164 6 訪日外国人の国・地域の特徴を挙げてみよう。 p.165 10 p.165 8 国内輸送の内訳の変化についてまとめ、その理由を考えてみよう。 p.165 7 交通網の整備により、どのようなことが変化してきたのだろうか。 p.165 11 p.165 9 情報通信機器の普及や、通信ケーブルや通信衛星網の整備によって、便利になったことを説明してみよう。	○ 訪日外国人の国・地域別割合の特色を読み取らせる。 ◆ 訪日外国人の多くが東アジアの人々であることを理解させる。 ○ 国内の輸送手段の変化をまとめさせ、変化してきた理由を考えさせる。 ◆ 高速道路が全国に整備されたことによって、自家用車で移動する人やトラックでの輸送の割合が増えたことを理解させる。 ○ 交通網の発達に伴う、社会や人々の生活の変化を考えさせる。 ◆ 各地を結ぶ時間が短縮され、人や情報の交流が盛んになったほか、高速道路のインターチェンジ付近には工業団地や流通団地が造られていることに気付かせる。 ○ 通信網の発達によって、人々の生活がどのように変わったのか考えさせる。 ◆ 通信網の発達によって、インターネットが普及したことや、通信販売や医師が遠隔で指導・助言ができるようになったことなどを理解させる。
整 理	7. 本時のまとめをする。 8. 学習課題への振り返りの活動を行う。	交通網や通信網の発達によって、どのような変化が生じたのか、説明しよう。 「学習後の振り返り」の欄に記入してみよう。	◆ 交通網や通信網の発達により生じてきた変化について、グローバル化が進展し、ICTの発達で生活が豊かになる一方で、情報格差も生まれてきていることなどを説明できたか確認する。 ○ 「学習後の振り返り」へ記入させ、「学習前の予想」と比較させる。